

無碍の一道 第29号

発行:2013年12月13日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 副住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-0160・082-428-1360

除夜会並びに元旦会



日 時 12月31日(火) 23:30~24:30頃

場 所 天龍寺 本堂

今年も仏教壮年会の皆様のお力を借りて、ろうそくの灯りによるライトアップを計画しております。23:00点火予定です。

但し、天候不良の場合は点火いたしません。ご了承ください。

御正忌(おたんや)法座

日 時 1月11日(土)

ご講師 加藤 一英師(大崎上島 浄泉寺ご住職)

朝席 9時~11時頃
昼席 13時~15時頃



第28回歎異抄輪読会

日 時 12月19日(木) 19:00~20:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

★コーラス練習

1月20日(月) 9:30~11:30 参加費 100円

会員の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

4月13日の仏婦法座で発表したいと考えております。

曲目:「ふるさとは今も変わらず」「いのちの歌」「春の小川」など

★天龍寺仏教壮年会 月例会

※ 定例会に変わり、除夜会準備等をするようになりました。

浄土真宗のすくいとは？（歎異抄輪読会より）

当山では毎月広島大学名誉教授松田正典先生をお迎えして歎異抄輪読会を行っております。早いもので来年の2月で30回を迎えます。これも松田先生をはじめご参加をいただいておりますみなさまの温かいご支援等のおかげだと思っております。

最初歎異抄輪読会を開くにあたり、賛同されました方もあれば、当山の事を考えて少し私に自重してはというご意見をいただきました事も、今となっては懐かしく感じる所です。

その歎異抄輪読会で先般の6月・7月にかけて「浄土真宗におけるすくいとは何か？」という事に関してご講義をいただきました。

私は他の宗教の事もよくわかりません。以前ほんの少しだけ「聖書」「コーラン」を読んだ事がありますが、それもたいしたことではありません。よって他の宗教に関しては、皆無といった方が正解だと思います。ただ、日本の神社仏閣を参詣させていただきますと、大概「自分の子供が希望の大学に入れますように！」「自分の家族の中に大病を患った者がいますので、何とか助けて欲しい！」「金銭的に困っているので、何とかして欲しい！」等といった、自分の目の前に起こった問題を解決してくれる事が、一般的な宗教の「たすける」「すくい」等と言われました。しかし、浄土真宗に於いては、みなさまもよく御存じの通り、「南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏」と何回と称えた所で、自分の目の前にある問題が解決するわけではありません。では「浄土真宗におけるすくいとは」何でしょうか。

木の話の喩えを出されて、この様な事が書かれていました。木を自分に置き換えたならば、種から芽が出て、台風・嵐・地震等の自然災害、その他に人為的に木がおられること。鳥が糞をかける事。その様な自分にとって辛い事。苦しい事・嫌な事等が、まったく無く真っ直ぐに伸び、木が生い茂る事を願うと思います。しかし、自然界の木は全く同じ形をした木はありません。細川先生のお言葉を借りれば、「願われた木が、それぞれに願われた木になっていく。」とでも申しましょうか。

私たちも一人一人願われてこの境涯に生を受け、「願われた私が、それぞれに願われた私にならせていただく」。その為の日々の苦勞・悩み・不安、時には大きな悲しみ等があると受け止めさせていただき所浄土真宗の「すくい」があるのかもしれませんが。細川先生のお言葉では「すくいとは自覚である。また真の自己形成」とも書いておられました。

日々の悩み。苦しみ・悲しみ等の意味・意義が分かれば、受け止める事が出来なくても、歯を食いしばって耐えて・忍んで過ごす人生が、歯を食いしばらなくても耐えて・忍んでいける人生が広がってくるのかと先生のお話を聞かせていただきながら感じた次第です。

仏教はとかく暗いと言うイメージがありますが、自分にふりかかる順縁・逆縁も念仏の糧として「願われた私が、願われた私にならせていただく」ご縁として、粛々と受け止めていく人生は、ポジティブ・アクティブな生き方だとも書いておられました。

※ 偉そうなことを書かせていただきました。今日書かせていただきました内容は、松田先生・細川先生のお言葉・書かれた内容を私なりに受け止めさせていただいた事を書いたにすぎません。

私は日々愚痴・不満等をよく言います。ほんの少しでも松田先生。細川先生のお心を受け止める事が出来る日を願っておりますが、本当に難しいと思っております。

今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

よいお年をお迎えください。 合掌

